

令和7年度第1回社会教育委員会議事録

日時：令和7年5月15日(木)午後2時～3時

場所：精華町役場 6階審議会室

出席委員：

高鍋房美委員長、村上栄副委員長、尾崎麻由美委員、堀口紀代美委員、播磨富士子委員、尾崎万佐子委員、吉田一雄委員、丸山琴羽委員、向井麻美委員、友久庄一委員、木崎政行委員

出席事務局職員：

教育長川村智、教育部長松井克浩、生涯学習課長小笠原文紘、生涯学習担当課長上野泰弘、生涯学習課社会教育係長北川哲哉

傍聴者：無し

内容

1 議事

- (1) 各種委員の選任について
- (2) 令和7年度生涯学習講座について
- (3) 視察について ※今年度視察を予定しています
候補日：12月15日(月)・16日(火)・17日(水)

2 報告

- (1) 精華町社会教育委員の会議議事一覧について
- (2) 主な生涯学習事業について
- (3) 令和7年度社会教育事業(京都府等)の予定について

3 その他

《会議内容》

開会

小笠原生涯学習課長より第3回社会教育委員会議を開催するにあたり、委員定数のうち過半数が出席のため、精華町社会教育委員会議運営規則第7条第1項の規定に基づき会議が成立していることを報告され、会議を開始。

開会挨拶 高鍋委員長

- ・最近、小学生が犠牲になる事件・事故が目立つことに触れ、自身の目線（小学校時代、子どもの小学校時代、孫の小学校入学）の変化と社会の変化について言及。通学路の安全：幼稚園・保育園からの急な変化（集団登校での個別行動）を懸念し、下校時に「くるりんバス」の利用を検討すべきとの意見。
- ・学校の門の閉鎖について、不審者対策としての門の閉鎖が、中の安全確保や助け入れ、避難の妨げになる可能性を指摘。池田小学校事件を例に挙げ、バランスの取れた対策の必要性を強調。

川村教育長 挨拶

- ・学校、家庭、地域、行政の連携の重要性を強調。
- ・文化財保存活用地域計画：令和5年度から取り組んでおり、今年度中に策定予定。指定・未指定文化財だけでなく、精華町の宝物として広く捉える点が特徴。
- ・京都ハンナリーズとの連携：精華町が京都ハンナリーズのホームタウンとなり、バスケットボール普及・振興の取り組みを開始。
- ・打越台施設の整備：旧環境センター跡地とグラウンドを一体的に活用し、グラウンド、テニスコート、レストハウス機能を持つ文化・スポーツ拠点と災害時受援施設を整備。今年度末に発注、工事は来年度の見込み。
- ・本日は特に「各種委員の選任」と「社会教育事業関連予算の実施状況」の2点について審議する旨を説明。

議事（1）各種委員の選任について

事務局より、町の各種委員への充て職に関する説明

精華町民生委員推薦会委員：吉田委員（任期3年：令和7年～令和10年）。

精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会：高鍋委員（任期2年）。

精華町子ども祭り実行委員会委員：尾崎麻由美委員（任期1年）

精華町子どもの読書環境づくり推進協議会：播磨委員（任期 1 年）。

精華町明るい選挙推進協議会委員：丸山委員（任期 2 年）。

いじめ問題対策委員会委員：村上副委員長（任期 1 年）。

精華町町民健康づくり推進協議会委員：堀口委員（任期 2 年）。

参考として、以下の委員についても説明。

京都府山城地方社会教育委員連絡協議会理事：村上副委員長。

精華町地域で子どもを育てる連絡協議会会長。

町民文化賞・スポーツ賞選考委員。

青少年健全育成協議会協力委員。

町人権啓発推進委員：社会教育委員全員が就任。

【各委員からの意見等】

高鍋委員長から特別な事情が無ければ昨年度に引き続き委員を継続してほしいとの意見があり、委員からの異議はなく、現状のまま継続することで合意。

議事（2）令和 7 年度の生涯学習事業について

事務局より、令和 7 年度の生涯学習講座（広報掲載内容）について説明。

寿大学からリニューアルし、子どもから大人まで幅広い世代が参加できる講座を立ち上げ、対象は精華町在住・在勤者。

1 回目の講座内容・・・はじめてみよう健康習慣！「自彊術教室」

午前・午後開催、午前は人気、女性参加者多数。

2 回目の講座内容・・・ドローンで学ぶ防災とプログラミング

株式会社 JDB ドローンに依頼。

3 回目の講座内容・・・かけっこ講座：

小学生向け。スポーツ協会に依頼。

4 回目の講座内容・・・入門編「今からできる投資の基礎知識とライフプラン」

NISA・iDeCo 等投資の入門編で、消費生活相談員（FP 資格保持者）が講師。

5 回目の講座内容・・・いきいき健康講座：

高齢者向け。スポーツ協会に依頼。

6 回目の講座内容・・・笑いは健康の源！精華寿寄席「新春落語」

落語家 2 名を招き、約 2 時間の高座。

次年度以降の講座について、委員からの意見を募集したい。

【各委員からの意見等】

（播磨委員）

継続的な講座で成果発表ができるものを提案。

合唱：小学生と一緒に練習し、最終的にけいはんなホールで発表する形を提案。

着衣水泳：木津川レンジャー隊に協力を依頼し、ライフジャケット貸し出しや指導も含め実施を提案。

浴衣の着付け：親子で浴衣を着付けし、夏祭りに参加できる講座を提案。せいか音頭と一緒に踊ることも検討したかどうか。

探鳥会：山田川での探鳥会を提案（野鳥の会から双眼鏡等の貸し出し可能）。

（高鍋委員長）

小学校卒業式の羽織袴の着付けについて、親の負担軽減や着付けのサポート、文化継承の観点から講座の必要性を言及。

（丸山委員）

町民の中から「やりたいこと」を募り、町民主導で講座を行う形を提案。

（小笠原生涯学習課長）

文化協会のサークル等に講師を依頼し、活動を広げる可能性に言及。

（尾崎万佐子委員）

令和 7 年度の講座内容の充実を評価（現代的、投資、健康など）。

食育に関する講座の提案。人数限定で「かしのき苑」調理室利用も検討。

（小笠原生涯学習課長）

各講座に複数の目的を持たせる意図を説明（例：ドローン講座は防災とプログラミング）。社会体育の側面も重視し、文科系だけでなく体育系の試みも導入。

（村上副委員長）

コーラス講座があれば、精華町少年少女合唱団への誘いにもつながることを示唆。

（小笠原生涯学習課長）

講座が他の活動と連携できるような企画を今後も検討していく旨を説明。

議事（3） 視察について

事務局より、今年度 12 月 15 日～17 日のいずれかの日程で視察を予定している旨説明。事務局からの提案として、文化財保存活用計画の先行自治体、部活動の地域展開の先進事例を説明。委員からの提案を募る。近畿圏内を想定。

【各委員からの意見等】

（播磨委員）

鷹山保存会（京都祇園祭）への視察を提案。祇園祭のお囃子や山鉦の成り立ちなど、京都に住んでいても知らないことが多い点に着目。

（堀口委員）

小学校の警備問題に関連し、地域の高齢者が学校近くでサロンのような活動を行い、見守りを行う事例（京都北部や天理の事例）を視察先として提案。学校と地域の連携強化の視点。犬の散歩による下校時の見守り活動についても言及。

（尾崎万佐子委員）

奈良文化歴史資料館も良い視察先であると示唆（過去の視察経験から）。

（事務局）

複数の視察先を回ることも可能。委員からの意見を踏まえ、事務局で調整を進めることを確認。

報告（１）精華町社会教育委員の会議議事一覧について

昨年度の議事について説明。生涯学習講座、中学校部活動の展開、子どもの読書推進計画、文化財保存活用地域計画の進捗状況を今後も適宜報告する旨を説明。

報告（２）主な生涯学習事業について

生涯学習課が実施している事業の詳細を説明。

報告（３）令和７年度社会教育事業（京都府等）の予定について

社会教育委員事業、京都府等の予定

６月６日（金）：山城地方社会教育委員連絡協議会総会

６月２２日（土）：やましろ未来っ子みんなで HUG フォーラム

６月２７日（金）：京都府社会教育委員連絡協議会総会

９月５日（金）：近畿地区社会教育研究大会（和歌山県、町バス利用を検討）

報告（その他）

日当の見直しにより、今年度から日当が支給されなくなった旨を説明（実費弁償は可能）。

町外での会議参加時の移動手段（公用車・ハイエース、自家用車）と出欠確認方法について説明。

小笠原生涯学習課長より、体育施設の改修に伴う一時閉鎖について説明。

むくのきセンターアリーナ：令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月（半年間）、天井耐震化工事のため閉鎖。

池谷公園多目的コート：令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月（2 か月間）、メインコート改修工事のため閉鎖。

打越台施設：令和 8 年 4 月～工事開始。テニスコートは約 1 年間、グラウンドは施設完成まで 2 年間閉鎖予定。

広報誌やホームページで案内済み。利用者への不便を謝罪し、代替施設の案内や工事完了後の施設への期待を促した。

【各委員からの意見等】

（高鍋委員長）

池谷多目的コート閉鎖中の精華西中学校テニスコート利用の可能性について質問。

（小笠原生涯学習課長）

今後学校と具体的に調整する予定と回答。

（堀口委員）

小学校（東光小学校西門付近）でのスポーツチーム指導者による喫煙に関するクレームについて質問。

（小笠原生涯学習課長）

校門外であっても学校敷地外であっても、同様のクレームが届くことがあり、その都度各団体へ注意喚起を行っている旨説明。改善が見られない場合は、使用許可の取り消しもあり得る旨を伝えている。

（友久委員）

具体的な日時が分かれば対応できる旨を補足。

（尾崎麻由美委員）

打越台のスポーツ活動拠点整備に関連し、京都ハンナリーズとの連携でバスケットボール関連の充実した計画があるか質問。

（小笠原生涯学習課長）

具体的な計画はまだだが、選手派遣による教室開催などの提案を受けており、今後調整していく旨回答。

閉会挨拶 村上副委員長

・山城地方社会教育協議会の役員改選と来年度の山城研修会（精華町が司会・記録）について報告。

・令和 8 年度の近畿大会・全国大会が大阪で開催されることへの期待を表明。

・菅井区長として自主防災会の活動（堺防災センター視察予定）に触れ、社会教育委員にも防災活動へのアドバイスを求めた。

最後に、1 年間、委員会の盛り立てへの協力を依頼し、感謝の言葉を述べた。